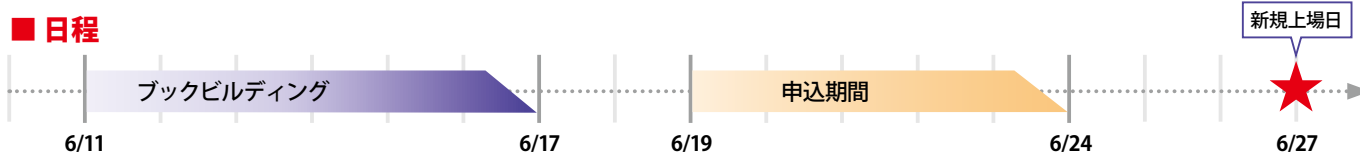


IPO銘柄 ICDAホールディングス (3184・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3184	100 株	公募: 29.70 万株 売出: 6.00 万株 (OA5.3 万株)	1,800 円 ~ 1,900 円 (7.3 倍)	野村証券



ホンダの新車ディーラー、中古車販売、輸入車販売などを展開

■ 事業内容

三重県を地盤にホンダの新車ディーラー、中古車販売、輸入車販売などを手掛ける。自動車販売事業では新車部門でホンダ四輪販売三重北がホンダの正規ディーラーとして新車を販売し、オートモールがフォルクスワーゲン、アウディ、ボルシェの正規ディーラーとして新車販売を行う。中古車販売ではホンダを中心に全メーカーを取り扱っている。自動車リサイクル事業では自動車リサイクル法に基づいた使用済自動車の解体、再資源品販売、リユースパーツの販売が主力。13年3月期第3四半期累計の売上高構成比は自動車販売関連事業が97.2%、自動車リサイクル事業が2.8%。

■ 特徴

グループ間で新車販売、中古車買取・販売、アフターサービス、リサイクルの流通経路を網羅。自動車リサイクル事業ではロシアやマレーシアなど海外へのリユースパーツの販売も手掛ける。最新鋭の機器を導入するとともに自動車解体の基本である「手バラシ」にこだわって分別している。

アナリストコメント

■ 定量分析

14年3月期の連結経常利益は前期比45.6%増の8億6700万円を計画する。12年9月にエコカー減税が終了して需要が一巡。13年3月期業績は減益となったが、14年3月期は消費税増税前の駆け込み需要を背景とした販売台数増を前提に、大幅な増益を計画している。

■ 定性分析

足元の業績成長率の高さは評価材料だが、地方の自動車ディーラーというビジネスモデルに新鮮味はなく、中期的な成長期待を抱きづらい。ただ、仮条件の上限は目論見書記載の想定発行価格1800円を上回る水準に設定されており、事前の人氣は高かった。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は7.8億円。株主にベンチャーキャピタルもおらず、公開株式以外の株券が市場に流通しづらい構造となっていることも評価ポイント。既存株式市場の波乱はネガティブだが、需給面への不安は乏しい案件だ。(小泉 健太)

■ 類似企業

ICDAホールディングス (3184・JASDAQ)	予想PER7.3倍 (仮条件上限)
東葛ホールディングス (2754・JASDAQ)	予想PER5.9倍
VTホールディングス (7593・JASDAQ)	予想PER9.3倍

■ 引受証券

野村証券、岡三証券、東海東京証券、SBI証券、エース証券、極東証券、日本アジア証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年3月期(実績)	21,328	11.9	621	24.1	330	41.8	343.96	75.0
13年3月期(実績)	23,278	9.1	595	▲4.2	423	28.2	356.8	50.0
14年3月期(会社予想)	25,494	9.5	867	45.6	530	25.4	261.5	50.0

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年3月期	960,000	12,807	1,713	480	1,729.57	13.0	15.1
12年3月期	960,000	14,063	1,996	480	2,025.20	13.8	18.3

大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	エム・エフ	500,670	27.77
2	向井 弘光	420,210	23.31
3	向井 俊樹	281,430	15.61
4	ICDAグループ社員持株会	160,810	8.92
5	向井 なよ子	83,970	4.66
6	向井 未安	54,540	3.02
7	向井 崇	48,510	2.69
8	滝本 理絵	27,000	1.50
9	森尾 明	26,190	1.45
10	江藤 隆仁	24,570	1.36

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	向井 弘光
取締役	江藤 隆仁
取締役	新堂 智康
取締役	向井 俊樹
取締役	小村 則昭
取締役(管理部長)	黒田 悟郎
常勤監査役	桶本 進
監査役	伊藤 保元
監査役	山川 明伸

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会